

# 蕨市議会・12月定例会

平成23年12月定例会が11月28日から12月16日までの19日間の会期日程で議会が開かれました。市長提出議案14件、議員提出議案2件、報告2件、請願3件について審議を致しました。

公明党蕨市議団と致しましては、今議会は平成24年度予算案に大きく影響を及ぼす議会であることから、慎重なる意見交換をしながら生活者優先の立場で各委員会審議、一般質問等の論戦を展開致しました。

その後、討論・採決を行い閉会されました。

## 真心の品々感謝申し上げます。

### 公明党蕨支部女性局

昨年の11月6日に、福祉活動の一環として「公明党蕨支部女性局」によるボランティア活動を行いました。

昨年も、女性局の方々が党员や市民の皆様へ働きかけ「タオル・石鹸・ティッシュペーパー・靴下・洗剤・紙おむつ」等を集め、蕨市社会福祉協議会に1,388点の品々寄贈することができました。

皆様のご協力に対し、心から感謝申し上げます。大変ありがとうございました。



## 公明党蕨支部女性局が蕨市社会福祉協議会より感謝状を頂く。



平成23年11月20日「第33回 蕨市社会福祉大会」の席上、女性局が長年行ってきた福祉活動に対する功績が認められ、物品部門で表彰となりました。

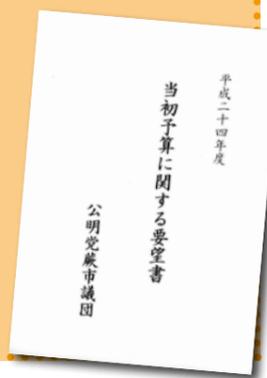
物品部門の対象者の多くは企業・団体であり、女性のみが活動しているところは、あまり類を見ないようです。

## 「議会基本条例制定の特別委員会を設置」

この12月定例会最終日に、公明党主導により議員提出議案として「議会基本条例制定」に向けての特別委員会が設置されました。この特別委員会は、蕨市の議会のあり方を徹底的に議論をして、市民の皆様分かりやすい議会を目指して設置されたものです。今後、特別委員会の議論の状況は折に触れ発信してまいります。

## 公明党蕨市議団 市長に「平成24年度当初予算に関する要望書」提出

平成23年11月24日(木)に市長に対して、公明党蕨市議団として平成24年度当初予算に対する予算要望書を提出しました。今回も「住みよい蕨」「安心安全の蕨」を目指して、新たな事業を含む136項目を約1時間30分に渡り説明し要望を行ってまいりました。



## 「3つの50周年」

公明新聞は昭和37年4月2日創刊以来、満50周年を迎えました。真実の政治を伝える公明新聞を是非購読下さい！

公明新聞創刊  
(62年4月2日)

— 真の党の姿伝え前進支える —

立党精神の宣言  
(62年9月13日)

— 「大衆とともに」は不変の原点 —

公明党結成  
(64年11月17日)

— 一貫して庶民守り抜く —

<http://www.komei-warabi.com>

※ Yahoo で「公明党蕨支部」「蕨市公明党」と検索すると検索結果のトップページに掲載されています。

# 公明わらび

発行  
戸田総支部  
蕨支部  
2012年1月



市議会議員  
松本 徹  
☎ 446-2093



市議会議員  
高橋 悦朗  
☎ 443-9110



市議会議員  
大石 幸一  
☎ 432-2450

賀 正 新年あけましておめでと  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

## 公明党蕨市議団



## ごあいさつ

新年あけましておめでと  
うございます。日頃より、  
公明党に対しまして温かい  
ご支援をいただき、誠にあ  
りがとうございます。昨年  
は、未曾有の大災害に見舞  
われ、犠牲になられたすべ



ての方々に、心からのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興に全力を挙げて取り組むことをお誓い申し上げます。

日本はいま大きな分水嶺に立っています。少子・高齢社会でやせ細っていくのに任せるのか、それとも安全と経済成長でたくましく生き残っていくのか、政治の役割が大きく問われています。しかし、皆様の政治への期待は逆に薄らぐばかりです。

私たち公明党は、今年9月に「大衆とともに」との

立党宣言から50年の節目を迎えます。どこまでも皆様に尽くす政治の原点に立ち戻り、政治への信頼回復に総力を挙げて取り組む決意です。皆様にもっとも近く、すぐ動く公明党——。「支え合う社会」の先頭に立って参ります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

公明党埼玉県本部代表  
参議院議員

西田 実仁

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

党员支持者の皆様におかれましては、益々お元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、東日本大震災という歴史的大災害に見舞われ、被災をされた多くの方々に対し衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、統一地方議員選挙、蕨市議会議員選挙と続く中、公明党蕨市議団と各地

## 恭賀新年

## 快適都市蕨

の公明党議員に対し心からのご支援・ご支持・党勢拡大にご尽力を賜りまして深く感謝申し上げます。

私ども3名の議員は、各々が常に「市民の皆様と生活に直結した政治」「市民の皆様と同じ目の高さ」に立った政治を行い、市民の皆様が安心して安全な生活ができるように「快適都市蕨」の構築に向けて全力で取り組んでまいります。

本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

# 一般質問・要旨

松本 徹 議員

## わらび地域力発揮プランについて

「質問」 市民と行政が心を通い合わせ、協働することによって持続可能な都市経営に取り組んでいくための行動指針「わらび地域力発揮プラン」について

昨年8月に策定した「わらび地域力発揮プラン」は、「更なる地域力の創造」を大きな柱として、これを「職員」の知恵と力の発揮「自律した行政運営」の2つの柱によって支えることにより、協働によるまちづくりをいつそう進めていこうというものであります。この3つの柱に34の推進項目を掲げ、具体的な実施内容として43の事業を示し、計画的かつ着実な実施に向けて取り組んでいるところであり、12月1日現在の進捗状況としては、43事業のうち既に実施済みのものが16で実施を決定しているものが4つ、準備・検討中のものが23という状況であります。

## 1つ目の柱「更なる地域力の創造について」



「地域社会の絆を深めるコミュニティ活動」として、公園を核にした花いっばい運動を展開しており、「NPOボランティア団体等と築く新たな協働関係」としては、新たにコミュニティビジネス講座を開設したところであり、

「みんなの参加で市民活動をはぐくむ環境」としては、わらびネットワークステーションを設置し、また、市民参画・協働を推進する条例の制定については、現在市民懇談会等において検討を行っているところであり、

## 2つ目の柱「職員の知恵と力の発揮について」

「市民と心通わせ、市民と共に行動する職員」として、職員の自主学習グループの立ち上げや市長と職員とのクロスワークを実施。「やる気みなぎる少数精鋭の市役所」としては、各部課長が作成した方針を各所属職員に周知し、職員間の目標の共有と意識付けを行っているところであり、

## 3つ目の柱「自律した行政運営について」

「計画的で透明性の高い行財政」として、新規施設である「くるる」の指定管理者の指定を行いました。「多角的な手段で確保を進める財

源」としては、蕨市債権対策委員会を立ち上げ、債権管理に関する基本方針と債権管理に関するマニュアルを策定しました。また、「選択と集中」で市民ニーズを捉える行政サービス」としては、行政評価の定着化を図るとともに、来年度で行政評価の対象事業が一巡しますので、制度の見直しに向けた検討も進めているところであり、



なお、準備・検討中の事業につきましては、プランに示した目標年度に向けて推進項目を実現するため、引き続き、各所管課や部会、ワーキングで検討していくとともに、既に施している項目については、PDCAを基本に実進管理を行いながら、その推進に向け取り組んでまいります。

高橋 悦朗 議員

## 空き家・廃屋等の対策について

空き家・廃屋等の対策についてですが、長期間放置されている民間の一戸建て空き家住宅の防犯、防災、環境対策、そして空き家の有効利用について質問致します。市内の住宅密集地域を歩きますと、明らかに人が住んでいる気配を感じない空き家であるとか、雑草が生い茂り、天井が抜けて窓ガラスが割れた崩壊寸前の家屋などを見かけます。しかし、土地、建物が個人の所有している財産であるがゆえに、市民から苦情があっても行政の打つ手が限られているのが実態であります。

「質問」 空き家・空き店舗・廃屋など、市内における空き家件数および空き家率はどうか、また倒壊の恐れのある危険な家屋について、どこまで把握しているのか

「答弁」 住宅・土地統計調査結果によると、蕨市の住宅総数は、34,360戸となっており、マンションやアパートの空き室などを含めた空き家の総数は4,180戸、率にして12.1%となっております。また、老朽化し、倒壊の恐れのある危険な家屋については、4件把握しています。

「質問」 所沢市では、「空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、所有者に適正な管理を義務付け、市民へも空き家に関する情報提供を求めています。本市においても独自の要綱を設けての条例化はできないか

「答弁」 老朽化した空き家に関する苦情や要望は、所管部署で現地調査や所有者・管理者の調査を行い、適切な維持保全に努めて頂くよう改善指導を行っています。今後も所沢市をはじめ他市の条例等を検証しながら、空き家等の適正な管理の在り

方について調査・研究してまいります。

## 高齢者に対する買い物支援事業について

「質問」 「買い物難民」と呼ばれる市民の現状は、認識されているのか。その上で単身高齢者及び高齢者世帯の買い物支援する商店等の調査の実施をしたらどうか。買い物難民解消策として、本市でも高齢者の買い物を支援するためのネット商店街、商品宅配サービスはできないか。また、福祉の連携を求め、高齢者世帯への市内宅配事業協力店リストや商品カタログ配布などの支援事業を実施することはできないか

「答弁」 「蕨市老人保健福祉計画・介護保険事業計画実態調査」において、買い物支援についてのニーズは高いものと認識しており、商店会、商工会等の主体的取り組みに、市として連携して支援し、高齢者の買い物を支援するためのネット商店街の整備や商品宅配サービスの導入の可能性を検討し、また市内宅配事業協力店リストの作成や商品カタログの配布などの支援事業についても、研究をする必要があると考えています。現在は、「にぎわいまちづくり連合会」による高齢者の日常生活を支援する地域支え合い事業「くらしのサポート」が開始されており、積極的に支援していきたいと考えています。

大石 幸一 議員

## 蕨市における4ワクチンの接種事業について

「質問」 4ワクチン等の接種状況はどうか



「答弁」 平成23年10月末現在、子宮頸がん予防ワクチン「合防ワクチン」合計1,144件  
「小児用肺炎球菌ワクチン」合計998件  
「ヒブワクチン」合計918件  
「高齢者肺炎球菌ワクチン」316件です。

「質問」 平成24年度における4ワクチンの接種計画はどうなっているか

「答弁」 子宮頸がん予防ワクチンの対象者は、中学校1年生に相当する年齢と、高校3年生に相当する年齢で平成23年度中に2回目までの接種を実施している方であり、小児肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンの対象者は、0歳から1歳までの乳幼児です。

「質問」 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種対象者等の変更についてはどう考えているか

「答弁」 高齢者肺炎球菌ワクチンは、接種後5年から6年経過後には

特異抗体価が低下するという意見もあります。「ワクチン評価に関する小委員会報告書」に「免疫の効果の持続や再接種時の抗体価の上昇効果については、引き続き並行して検討を行い、接種対象年齢や再接種の効果について再評価することが必要である」とのことから、再接種等については研究して参ります。

## 図書館運営について

「質問」 図書館のボランティア団体の活動についてはどうなっているか



「答弁」 現在、図書館には、お話の会や絵本の読み聞かせ、保健センターでの4カ月児健診時に実施しているブックスタート事業、視覚障害者に対する朗読テープの作成や対面朗読、傷んだ本の修理、北町分館の書架整理を行なっています。

「質問」 運営、サービスの向上と今後の展望についてはどう考えているか

「答弁」 蔵書数も約18万冊となり取蔵容量もほぼ限界となりました。今後は、地域住民のニーズの把握に努めると共に蔵書の更新、郷土資料や新聞縮刷版などの電子データ化と資料の充実を図ります。また、建て替えを含めた施設の更新を望みつつ当面は、現状施設でできるきめ細かいサービスをめざします。

「質問」 図書館にとっての問題は何があるのか

「答弁」 施設の拡充、開館時間と開館日数の拡充や、図書資料の利用予約方法の利便性の向上などを考えております。

「質問」 盗難防止機材導入の見解について

「答弁」 これまでも検討しており今後、盗難防止設備の設置を含め、新たな方策について、さらに検討していくことが必要であると考えております。

## 平成24年度当初予算について

「質問」 国民健康保険税の値上げの検討について

「答弁」 東日本大震災や世界的な金融経済危機などから、市民生活にも様々な影響を及ぼすものと考えられますので、平成24年度の国民健康保険特別会計につきましては、税率の見直しをせず作業を進めています。

「質問」 市立病院に対する繰出金について

「答弁」 地方公営企業法の繰出基準を基本に、救急医療及び企業債元利償還金に対する負担金といたしまして、平成23年度と同額であります。2億5,000万円を見込んでおります。